



季節感

日本ではこの仲間が節分に鰯の頭と組み魔除けとして玄関を守る。キリスト教の国々ではクリスマスの飾りとする。何れも鋭い鋸歯を持つ葉に起因すると思われる……もうすぐクリスマスだ……

『ホーリー（西洋柊）』
平成24年12月3日
福岡市早良区室見団地
大塚俊樹



熊洞居人独言

80

kuma は、映画「宝満山」の製作も含め、宝満山の保護に具体的に関わっている。前回も含めて、宝満山のことを呟いてる。宝満山の東側斜面の下に道路があり、米の山峠を越えると筑豊地区に行くことが出来る。

私が住んでいる御笠地区の住民達は、毎日宝満山を眺めて暮らしている。御笠地区の吉木小学校は、春に遠足地として毎年宝満山に登っている。吉木地区の上部・大行事原（だいぎょうじばる）で、小学生達に出くわしたこともあるが、子供達は「宝満山・登山」を大喜びしていた。

御笠地区の住民達は、殆どの人が数回～数十回・数百回登られている。福岡県を含め、日本の多くの住民達には、殆どの人々が「宝満山は、大宰府市の山」と思われているが、九州地区の住民達は、古代から近世に掛けて京都に行く道路として、宝満山東側の斜面下部の道を利用していた。九州地区の人達には「御笠街道」と呼ばれていた道路で有る。このことも含め、70回以降の呟きで数回紹介している。

「御笠」の名前の起こりは、現在の大野城市にある「御笠の森」から始まっている。御笠の森は、四王寺山山麓近くにある森林であるが、古代に神功皇后が、香椎宮から筑後地区の神社に向かわれていたとき、頭に被っておられた笠が風で吹き飛ばされて、樹木の上に引っ掛かった。そこで、地域の住民達がこの森を「御笠の森」と呼ぶようになったのである。kuma は宝満山全体も含め、旧御笠郡＝現在の「大野城市・太宰府市・筑紫野市」の範囲でも、植生調査も含め、樹木の生え方の調査を行っている。

◆お報せ◆

来年(2013年)度自然観察指導員講習会を
福岡で開催します。
・日程：8月24(土)～25日(日)

※以上の件について、詳細は本文記事をお読みください。

★都市公園で自然観察会19★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

☆日時 12月16日(日)

集合14時00分～解散16時00分

☆場所 春日公園・自然かんさつ館
〔旧公園管理センター〕

連絡先 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765〔FAX兼用〕

Eメール kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

12/16（日） 1/20（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-7112（山本勝）

12/22（土） 1/26（土）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：8:00～11:00
集 合：久末ダム多目的広場横駐
車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

1/6（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

1/12（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
092-573-1827（森健児）

1/13（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

1/1（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：旧公園管理センター前
問合せ：090-7390-3561（小野仁）

日本野鳥の会 筑後 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

12/16（日）
筑後川中島（うきは市、朝倉市）
時 間：10:00～
集 合：うきは市スポーツアイランド
問合せ：090-4516-4467 木原直人



福岡植物友の会 主催

12 月の例会は終了しました。
詳細はHPをご覧ください。

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

1/5（第1土曜日）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072（松永）

参加費：大人のみ 200 円（保険料込）
ブログは 三国丘陵 **検索** で
すぐにヒットします。



三国丘陵の自然を楽しむ会の観察会の様子

久留米の自然を守る会 主催

第403回例会 1/20（日）
25年度総会と環境講演会
集 合：くるめウス
時 間：13:00～14:00（総会）
14:30～16:30（講演会）
動物カメラマン・津田堅之介氏講演
テーマ
「中国ネパール、奥アマゾン
野生動物を追いつけて」
下記 fax 要事前申し込み
17:30～ 新年会
問合せ：0942-46-8622（古賀）
0942-46-8623（fax）



クロガネモチの実とナミテントウ 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

12/15（土）
守る会定例会議
時 間：10:30～13:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

12/15（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



・～・春日公園自然観察日記／17回 2012年11月18日（日）・～・

この日は参加者が私を含め6名でした。曇り、ほとんど風もなく秋色に染まった木々の中で、秋を楽しみました。

秋だからこそ、出合える生きものを、楽しみました。

カワラヒワやアトリ・マヒワが群れでアキニレの種をたべていました。観察開始では、そのアキニレの種を食べてみました。味はよくわかりませんでした。しかし、カワラヒワたちには、いい食べ物なのでしょうね。

公園内の樹木の名札の裏が面白い。冬越しの準備中の生きものに会えますよ。今回もヨコヅナサシガメ、ヤモリなどを観察しました。



紅葉したモミジの落ち葉、たくさんたくさんありました。その中で、気に入った落ち葉を拾い、並べました。なぜ、たくさんの落ち葉の中で、なぜこの落ち葉を拾ったのか、メモしてもらいました。1枚1枚よく見つめてみました。大きさ、色、形、香りなどをしっかり見つめるきっかけにして、観察する目をよくするためです。



次に、鮮やかな色の葉っぱ、並べてみました。



ただ拾って並べてみるだけで、楽しいですね。赤色の鮮やかさ、黄色も明るい黄色。この葉で草木染、香りと色が、いいですね。

この公園に、どんなドングリの木があるのか、今後の活動のために、少し探しながら歩きました。見かけた木は、マテバシイ、クヌギ、ウバメガシ、スダジイ、コナラ、アラカシ、シラカシ、シリブカガシ・・・他には。

報告と写真 田字草

◆参加報告◆◆NACS-J・ネイチャーフィーリング研修会◆

2012年12月8日(土)13時から9日(日)15時まで大分県由布市狭間町にある陣屋の村という施設で、ネイチャー・フィーリング研修会が行われました。

参加者32名(大分県27名、熊本県2名、福岡県2名)、講師は東京のNACS-Jから2名、大分県と熊本県から各1名、耳の不自由な自然観察指導員1名が協力者という体制で開催されました。今回、(公財)日本自然保護協会のネイチャー・フィーリングに関する第一人者である鳥山由子さんが講師です。この研修会に参加。その報告です。

まず、「五感を使った自然観察」で、横に枝を広げた大きな栗の木を知ってもらい観察、異なる5つの場所(モグラの穴の中、ケヤキの樹皮、石碑、落ち葉の中、小さな沢の流れ)の体感温度、木の特徴を手で触って知る体験、ふんわりした地面を歩く体験、を実習。



枝の広がりに合わせて、手を広げた。



木の枝と冬芽を手で触って感じる。

その後、講義「ネイチャー・フィーリングの考え方と実践例」、夜は交流会でした。差し入れのハムの燻製や各種の漬物も美味しかった。

2日目の早朝、コナラの林で落ち葉を踏みしめながら散歩しました。朝食の後、講義「体の不自由な人との観察で配慮したいポイント」を聞いて、野外実習「実際にネイチャー・フィーリング自然観察会をしてみよう」、そしてふりかえりと講師よりコメントがありました。実りある研修会でした。



早朝 コナラの森を歩く



視覚障害の参加者を誘導する



木に寄り添う↑ 鳴いていた鳥→





↑木の枝・冬芽に触れる



↑実習の後の振り返り

晴れたり、小雨だったり、そして雪の吹雪いた2日間でした。

(報告：田村耕作)

◆お報せ◆ 来年(2013年)度の自然観察指導員講習会を福岡で開催します

日程：2013年8月24(土)～25日(日) ※場所等、その他詳細は未定です。

【開催決定の経緯】 去る11月25日18時から、春日公園内の自然かんさつ館で話し合いを持ちました。

○参加会員：小野仁・山本弘子・永松愛子・大塚俊樹・瓜生顕一郎・門司慶子・冷川昌彦・吉田素子・田村耕作

○この時点での決定事項

- ・2013年度に講習会を計画する。講習会は次年度から1泊2日となる。
- ・経費の一部は、エフコプの環境助成金に応募してみる。瓜生氏が対応する。
- ・次年度の応募締め切りは、11月末。12/10現在、応募完了、結果待ち。
- ・福岡県に協賛あるいは共催を呼びかける。冷川代表が対応する。
- ・開催場所は、福岡インターから近い篠栗にある福岡県立社会教育総合センターを候補地とする。
- ・NACS-Jの担当者に打診する。事務局田村が対応する。

⇒ 申込書を作成し、12/10までに提出。

この際、開催希望理由として以下の通りに記述。

「福岡県在住者で、他県で講習を受講する人が、毎年数名いるので、受講希望者がまだ予想される。また、前回2006年11月に開催してから、6年間開催していない。そのために、新しい仲間を増やしたい。」

※また、同時に、次のことについても話し合いました。

- ・経費に関して、収入より支出が多く、積立金から補てんしているが、次回の定例総会までに、この件をどう解決するか検討し、対応する。

◇投稿◇皆さんはどう思われますか？

次の新聞記事を読んで、皆さんはどう思われますか？
是非、ご感想をお聞かせください。

2012年(平成24年)11月25日 日曜日 【特集】

西日本新聞

解明者で東京大学名誉教授の養老孟司氏を講師に迎えた全教研創立50周年記念講演会「育て、学びのこころ」自然と向き合って」（全教研、西日本新聞社主催）が福岡市で開かれた。北部九州におよそ70の学習塾を展開する全教研は、教室での学習の他に、科学の心を育てる理科実験教室「キッズラボ」や、農業などの普段できない体験を通じて子どもの自主性を育もうという課外活動などを積極的に行っている。会場には親子連れの人姿が多く見られ、自然が子どもに与える影響など、示唆に富む養老氏の話に聞き入った。

■数億年の「答え」を見る

小中学生の子どもを育てるお母さんたちが、教育でイメージするのはその中身ではないでしょうか。どこまでできたとか、何点取れたとか。算数や理科が典型ですが、学校教育では問題があつて答えを山します。

しかし、自然に親しむといふことは、それとは違ふ語です。子ともが森に行き、たくさん葉を付けた木を見て、葉はどういう規則で生えているのかという疑問を持ったとします。クルミの木のように2枚の葉が向かい合つて付く「対生」、フナのように互い違いに付く「互生」など、それぞれに規則性があるのですが、これは教科書を十分に学べば分かることです。

しかし、そのこと自体にも何らかの意味があるのではないかという新たな疑問が生じます。

葉は太陽の光を受けて光合成をしています。太陽はゆっくりと動いています。その動く太陽の光を最大限、効果的に受けるために、葉をどう並べたらいいのかということをも自身が分かっているのではないのでしょうか。つまり、子どもが森の中で見ているものは、何億年もかけて自然が導き出した問題の答えを見ているのです。

自然から学ぶといいますが、何を学んでいるのでしょうか。学校で学ぶことは中身ですが、自然から学ぶのは中身ではなく答えの形なのです。

子どもたちを
自然の中へ

皆さんの体も自然の一部であり、何億年の歴史を持っています。

身体は意識的に作られたものではないのです。ややこしい問題とさえですが、木の葉の並び方と同じことです。

2枚の葉が完全に重なって付くというのはあり得ません。そんなことをしたら駄目だと、木は初めから分かっているのです。こういうことは自然を見なくなると気が付かなくなってしまうのです。

■人間の体も自然の一部

哲さんは「いろいろを
してはいけない」など言っ
て子どもを叱ることがあ
ると思いますが、

子どもは果たしてその中身を聞いてくれているのか。

皆さんも自分の子ども時代を思い起こせば分かるでしょう。子どもは何を見てゐるかという点、親が怒っているところだけなのです。親が怒っているという形が大切であり、それが役に立つのです。

これを難しい言葉で「メタ・メッセージ」といいます。あるメッセージが持っている本来の意味を超えて、別の見方や立場からの意味を与えるメッセージのことです。

ある面を以て、幾何学的に最も重要なものである。



多くの人が養老孟司氏の話に聞き入った

ない食事の特集がありました。編集部にすると「売れるから書く」というのです。

日常の生活習慣に注意したら糖タリにならないで済む。これもメタ・メッセージです。この考えを進めると、頭で考えたら体は思うようになるという「自然のメッセー」を伝えていくことになるのではないのでしょうか。そして、ほとんどの人がそう思っているのではないのでしょうか。

いろんな化粧品をべたべた塗ってもしよせんは年を取り、しわは増えるのです。頭がどう言っても体は体の都合で動いているのですから、体のことは体に任せればいいのです。体は自然の一部ですから、人間は完全には理解できないのです。

■花鳥風月のない悲しさ

政治学者で思想史家の丸山眞男先生が、古事記と日本書紀で一番多く使われている言葉を数えています。それによると「なる」という言葉がそうです。

実がなるとか草木が豊かに生い茂るとかといった様子を表すのですが、日本という社会はそういうものが根本にあるというのです。多

様な文化が栄える日本の秘密が「自然ではないか」と思ふのです。15年ほど前に出版された『14歳

の私が書いた遺書』という本があります。いじめにあった少女が大人になって書いた本です。

それを読んで私が一番印象的だったのは、私が中学生のころにたくさんあったことが、その本には一言も出てこないことです。つまり、虫や山、台風などの花鳥風月、つまり自然の記述が一切ないのです。

「私の言ったことに友達がいざ反応した」「親がこう言った」「先生がこう言った」「兄がこう言った」と、全部人間の世界のことしか書かれていないのです。

私たちが取り替へる世界は四つの側面からできています。人工（人間の意識の世界）と自然（人間の意識と関係ない世界）。人工の世界にも良い面と悪い面があり、良い人もいれば悪い人もいます。自然の世界もそうです。きれいだなど思ふ景色もあれば、台風や地震で被害を受けることもあります。

私たちはその四つの世界で育ちましたが、この少女の世界には人工しかない。自然の世界がなくなるとどうなるか。世界が半分になり、（その分）いじめの重さが倍

になるのです。

今なぜ、今回のテーマのよきに、自然の中に入れていいのか。それは、都会で暮らすことを考えれば分かります。

今この場所（講演会場）がそうですが、明かりは人工で冷暖房完備。一日中ここにいれば風も吹かないし温度も変わらず、快適かもしれない。しかし、そういう環境は生物にとっては当たり前ではなく、とんでもなく退屈な環境なのです。

だから、子どもを自然の中に連れ出すのです。ただ、子どもに自然の良さと大切さなんかを説明しても意味はありません。自然の中に連れ出すだけでいいのです。

自然に親しむと考え方に無理がなくなる

■世界を狭くさせないで

ハチに刺されればいじめどころではありません。自然は素晴らしいけど、怖かったり怖かったりするところを知ると、そういうメタ・メッセージを伝えることが重要なことなのです。

マンションの中だけで育つと、そういうことが一切からない、傍若無人な人間になるのです。耳にイヤホンをつけて歩いている人は、周りの音を聞く必要はないと思っているのでしょう。電車の中で化粧する女性は周りの人間の存在が眼中にないのです。

今の子どもたちは自然と付き合いなくなつた分、世界が狭くなつたのです。なぜそうなつたか。大人の都合で子どもの生活を決めるからです。都会の中だけで生活するのは決してノーマルではありません。いろんなものをなくしてしまっています。

そうならないための一番の教師が自然なのです。自然は人間に対して常に中立です。自然に親しむと考え方に無理がなくなります。都市の人間は脳みそが優先して「こうであるのが当然」と考え、無理をしたり、曲がったことをしたりします。でも、自然は曲がったことはいません。

それが曲がって見えるのは、その人が曲がっているからです。自然がない人間だけの都会ではいろんな問題が起るのは当然なのです。

子どもを自然に連れ出して、子どもが、虫なんて嫌いだ、と言ってもそれはそれでいいのです。成長すればどうせ人間の世界で生きるのですから。

その時にどうやって生きていくのかを考えることが重要なのです。自然に学ぶというには、結局は自分を知ることです。素直な世界の動きや周りの動きがどういふものかを、子どもは自然の中で自分で学んでいくのです。

※ご感想をお寄せください。

Eメール kurabird-.tamura@nifty.com

FAX 092-400-1765

もしくは、奥付の事務局までご郵送ください。



インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。

ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。



会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000 円

郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783



皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。

皆さん情報をお待ちしています。



定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として**毎月第2金曜の 18:00~20:00 ごろまで**自然案内舎(有)クラブードにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、**平成25年 1月11日(金) 午後6時より事務局で行います。**1月号の原稿は、**1/9(水)**までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。
宜しく願います。



他団体の会報の紹介

- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第139号(12月号)、12/1発行。
- ・福岡植物友の会 会報 平成24年11・12月号 第53巻
4ページにまとめた会報、経費削減の参考になるかも。
- ・NOP法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 no.173 2012年12月1日
予想を超える反響！奥武蔵自然歩道 自然に親しむハイキング
- ・北海道自然観察協議会 自然観察 第104号 2012年11月15日
年4回の発行です。経費を抑える参考になりますね。
- ・福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信vol.59 Autumn 2012
特集 子どもたちの職場体験



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：冷川昌彦／事務局長：小野 仁／
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子／会計：宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(有)クラブード内 TEL & FAX : 092-400-1765
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 11月の定例発送会は、山本弘子・大塚俊樹・田村耕作が参加。田中健二・山本勝・藤川渡から欠席の連絡有り。HYから煎餅鍋に用いるせんべいの差し入れがありました。この冬は、冬鳥がたくさん楽しめそう。前の冬は、アトリやマヒワ、キクイタダキなどほとんど見かけなかったのに、この冬は、すでにアトリ類の群れ、キクイタダキやツグミ類がにぎやかです。楽しみましょう。田字草

